連携医院のご紹介の

今回は安佐北区口田にある「誠心の医療で 人や環境に優しい医療」を提供している山下医院の 山下達博院長・山下正博副院長にお話を伺いました。



山下達博院長と山下正博副院長

医療法人社団 博寿会 山下医院

〒739-1734 広島市安佐北区口田 1-15-10 電 話/082-843-1011 院 長/山下達博 診療科目/外科・胃腸内科・

耳鼻咽喉科・人工透析内科・ アレルギー科・放射線科・ リハビリテーション科



○いつ開業されましたか。

昭和58年3月に19床の有床診療所として当地に開業しました。透析治療、外科、胃腸内科、耳鼻咽喉科の治療を行なってきました。

○開業されてから今までの ことを教えてください。

医療に関するニーズは日々変化しており、時代に応じて経営を考えてまいりました。高齢化が進展する中で地域のニーズにの応えるため、リハビリテーシュを運営し、介護の相談窓口とでは、介護の規談窓の間では、10元のでは、1

○力を入れている事は何で すか?

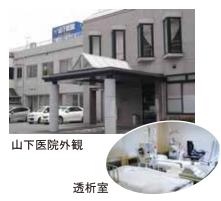
地域に信頼されるかかりつけ 医として、多様な悩み事等も気 軽に相談できる場所にしていた だけるように日々努力していま す。また院内感染・医療事故を 起こさないために、スタッフ全 員の意識を高める必要があり、 継続的な教育に力を入れており ます。

○毎日の診察で大切にして いる事は何ですか?

とにかく患者さんの話を聞く ことです。「手当て」という言葉 がありますが、実際に手を当て て、皮膚の状態や痛みの程度・ 部位等、頭のてっぺんから足の 先まで診察し自分の目で確かめ ることが大事だと思っています。 これは医師になってずっと心掛 けていることです。

○県病院はどんなところで すか。

透析患者さんの受け入れは、 病院が限られるため難しいとこ ろがあるのですが、県病院はす ぐに引き受けてくれ、患者さん を元気にして帰らせてくれるの で頼りにしています。



【取材後記】

院長先生・副院長先生が取材に応じてくださり、お二人ともとても柔らかい雰囲気で、日々の診察も患者さんの立場に立って接しておられるお姿が目に浮かびました。患者さんのことを考え支援していただける地域に根付いた医院だと感じました。

2020年10月広報誌『もみじ』掲載



山下医院 HP